

視聴覚教育時報

No.741 2023 年 12 月号

contents

- ▽令和5年度 第2回理事会報告・令和6年度の事業計画概要（案）について
- ▽令和5年度 全国大会報告
- ▽講師派遣事業 第64回愛媛県メディア教育研究大会
- ▽16ミリ映写機操作講習会 立見康彦客員教授への講師依頼について
- ▽16ミリ映写機操作講習会 オンライン交流会報告をHPに掲載
- ▽eスクール ステップアップ・キャンプ2023 新潟大会開催（R6.1.27）
- ▽えすけーぷ

▽令和5年度 第2回理事会報告・令和6年度の事業計画概要（案）について

本年度第2回理事会は、11月6日付文書により、11月20日を理事会指定日として各議案について文書により審議いただき、全理事から下記議案について承認を得ました。

- 「令和5年度事業経過報告書（案）」
- 「令和5年度収支中間決算報告書（案）」
- 「令和6年度事業計画概要（案）」

<令和6年度事業計画概要（案）>

○取り組み方針

令和6年度の調査研究事業の柱は、昨年度同様に2本とし、専門委員の知見を活かした調査研究を進める。

また、これらの取り組みを活かすためにも、引き続き他の教育メディア関係組織や団体との連携を進め、教育メディア利用推進会議、著作権処理のための協議会、視聴覚教育・放送教育合同全国大会等を積極的に実施する。

○事業計画

・会議

①理事会

- 第1回文書理事会 5月
- 第2回理事会 11月9日（全国大会）

②常任理事会

- 第1回常任理事会 4月
- 第2回常任理事会 11月

③専門委員会

全国をブロック別に分け、専門委員を委嘱し、主としてブロックの情報交流や拠点における研究・研修事業の推進。また、全国大会における全視連関係分科会での指導助言・運営・記録等の協力体制を継続する。

・実施事業

①令和6年度視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会 合同大会の開催

令和6年度視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会 合同全国大会は、「未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用」をテーマに、令和6年11月9日（土）にオンラインにより開催することとなった。開催に当たり、大会における生涯学習部門の充実を図り、「ワークショップ・セミナー」及び「実践発表」により全視連分科会の充実を図る。

②全国視聴覚教育連盟視聴覚教育功労者の表彰

第27回表彰として加盟団体、各都道府県指定都市教育委員会から推薦を受け、選考委員会

にて決定する。

③調査研究事業

▽「オンラインによる視聴覚センター・ライブラリーのネットワーク構築に向けた調査研究」(継続)

令和5年度の実績を踏まえてより緊密で各視聴覚センター・ライブラリーにとって有用な交流機会の継続的实施と研修会の開催に向けた試行と提案を行う。

▽「オンラインネットワークを利用した16ミリ活用策提言にむけた調査研究」(新規)

令和5年度のオンライン交流会において、各視聴覚センター・ライブラリーが16ミリフィルムの利活用に様々な課題を抱えていることが話し合われた。これを受けて、オンラインネットワークを活用した解決策の検討と提案を行う。

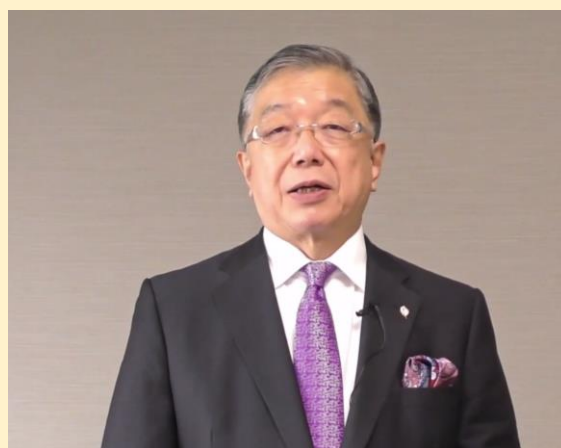
④講師派遣事業の実施

全視連講師9名のから、加盟団体が希望する講師を講演や研修会に派遣する。

▽令和5年度 視聴覚・放送教育合同全国大会報告

去る11月11日(土)、標記合同全国大会が、「未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用」をテーマに、時代に即した視聴覚教育・放送教育に関するワークショップ・セミナー、実践発表、全体会、などを行い、最新の視聴覚教育・放送教育、ICT教材・機器に関する情報を提供することを目的に、579名の参加申込を得て、オンラインにより開催されました。

- ・期日：令和5年11月11日(土)
- ・対象：全国の幼稚園・保育所、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の保育士・教員および教育関係者、社会教育関係者



主催者：視聴覚教育総合全国大会連絡協議会・大久保昇会長



文部科学大臣祝辞代読：文部科学省初等中等教育局学校デジタル化PTリーダー武藤久慶氏



主催者挨拶：全国放送教育研究会連盟・銭谷眞美理事長

＜生涯学習部会＞

令和4年度の調査研究の結果を生かした内容とする。調査研究1で行った、自作録画教材のデジタル化とオンライン提供の具体的な取り組み方法についての検討結果を踏まえて、セミナーでは著作権について学び、実践発表はデジタル化と配信を積極的に進めている施設に発表していただきました。

▽セミナー（10：00～12：00）

著作権法は、著作者の権利を守るとともに、正しい著作物の利用に関する指針となります。近年のデジタル化・ネットワーク化の急速な進展により、創作や流通、利用の環境が大きく変化し、著作権もそれに合わせて改正されています。本セミナーでは、元文化庁著作権課課長補佐の大和淳先生に、最新の著作権についての動向を解説いただきました。

「視聴覚教育関係者が知っておきたい著作権の最新動向」

講師：大和 淳氏（福岡教育大学教授）（60分＋質疑応答 60分）



セミナー講師：大和 淳氏

▽実践発表（13:30～15:10）

◇実践発表6-A（13:30～14:15）

「仙台市における自作視聴覚教材制作の取り組みとデジタル化について」発表者：間宮智也氏（仙台市教育委員会）

仙台市教育委員会では、視聴覚メディアを活用した学習を支援するため、地域映像教材ソフト開発事業として、地域映像教材の制作委託および自作視聴覚教材審査会に取り組ん

でいます。また、制作された作品は「せんだいメディアテーク」のホームページで視聴および活用することができるようになっており、それらの取り組みを紹介いただきました。



発表者：間宮智也氏

◇実践発表6-B（14:15～15:00）

「自作教材のデジタル化について」

発表者：中鉢裕幸氏（東映(株)教育映像部）

自作教材のデータ化についての著作権について、著作権（財産権）、著作人格権、肖像権などの解説も含め、解説・発表いただきました。



発表者：中鉢裕幸氏

▽まとめ（15:00～15:10）

丸山裕輔氏（全国視聴覚教育連盟副専門委員長）

丸山副専門委員長により、映像の力の再考、映像を楽しむ・残す、デジタル化映像の把握、ネットワークづくり、教材活用の情報交換、オンラインのメリットを活かす、などについて解説とともに、まとめを行いました。



司会・まとめ：丸山裕輔氏



来年度は6月11月9日（土）にオンラインで開催予定です。ぜひご参加下さい。

▽講師派遣事業

第64回愛媛県メディア教育研究大会

令和5年度の全視連の講師派遣事業を活用して、「ICT・メディアを学びの友として」を大会主題に富山大学大学院教職実践開発研究科教授の長谷川春生氏の講演が標記研修会において実施されました。

1. 主催 愛媛県メディア教育協会
2. 趣旨

メディア教育の振興に携わる学校教育・社会教育の関係者、団体・企業関係者が、ICTを活用した教育の推進やメディアの効果的な活用等について講演及び実践事例から学び、メディア教育の振興を図る。

3. 日時

令和5年10月11日（水）13:30～16:30

4. 会場

愛媛県生涯学習センター4階大研修室



講師：長谷川春生氏（富山大学教授）

5. 参加者

学校関係者、社会教育関係者、県・市町教育委員会関係者、県・市町視聴覚センター・ライブラリー関係者、メディア教育の振興に携わる団体や企業関係者、メディア教育に関心のある方（55名）

6. 内容

- ・開会行事—愛媛県メディア教育協会会長あいさつ
- ・講演—長谷川春生氏（富山大学大学院教職実践開発研究科教授）、テーマ「1人1台端末や生成AIの活用などから考えるこれからの学校教育」
- ・実践発表—テーマ「プログラミング教育の授業実践と研究」
発表者：坂本成斗氏（松山市立新玉小学校教諭）
- ・閉会行事—愛媛県メディア教育協会副会長あいさつ



▽16 ミリ映写機操作講習会 立見康彦客員教授への講師依頼について

16 ミリ映写機操作講習会の認定証は、16 ミリフィルムをその地域で上映・操作する上で必要なものですが、近ごろ講師の高齢化や体調不良などにより人材不足となり実施することが難しくなったとの声が、よく聞かれます。

そこで毎年、当連盟の講師として群馬県で 16 ミリ映写機操作講習会において講義および実習を行い、受講修了者には同地域の認定証を発行している群馬大学客員教授の立見康彦氏に、希望地域については講師を引き受けていただけたこととなりました。

＜講義の内容＞（2時間 30 分程度）

①講義「視聴覚教育メディア論」

「視聴覚メディアとは」という最初の問いかけで始まり、法令上の位置づけ、視聴覚教育の歴史や今後の展望、教育メディアの利用や管理運用、視聴覚ライブラリー・視聴覚センターの役割についてなど幅広い内容の講義を実施。

②講義「情報モラル・著作権・セキュリティ」

社会教育を進める上で必要となる知識、特に著作権については、公民館や学校での具体例を挙げて、著作権の範囲内での使い方や違法な例を解説。現代的な課題と併せて講義を実施。

③講義・実習「16 ミリ映写機操作技術認定講座」

16 ミリ映写機を実際に操作しながら、操作



方法と各部の名称を説明。操作方法を学んだ後、受講者はグループに分かれ、実際の映写機操作の実習を行う。全員が映写機に触れ、操作を実践することができるようにする。最後に、フィルムが切れてしまった際の対処方法として、テープスライサーを用いた補修方法を学ぶ。

講習会実施希望地域におかれましては、当連盟にお問い合わせ下さい（info@zenshi.jp）。当方で日程などを立見客員教授と調整いたしますので、下記情報をメールにて送付下さい。

- ・主催者：
- ・担当者氏名、電話、メール：
- ・期日：（あれば第3希望まで）
- ・会場：

- ・参加予想人数：（映写機 1 台につき 8 人まで、最大 30 人程度）
（実技の習得がともなうため、オンラインでの対応は不可となります。）

※旅費（前橋駅より）・謝金（15,000 円）については実施地域の負担となります。

※16 ミリ映写機、スプライサーなどが必要となります。

※講師から送られるテキストデータの印刷が参加人数分必要となります。

※認定証の発行元は実施地域の発行となります。

※サポート者 1 名ご担当いただけると進行がス

ムーズ。



▽16 ミリ映写機操作講習会 オンライン交流会報告を HP に掲載

去る9月 19 日（火）、視聴覚センター・ライブラリーの職員などを対象に「16 ミリ映写機操作講習会の現状と今後の方向性」をテーマに、73 名の申し込み者を得て、オンライン交流会を開催いたしました。

当日は毎年 16 ミリ映写機操作講習会の講師としてご活躍されている群馬大学の立見康彦客員教授をお迎えし、参加者が日頃感じている質問や課題などについて、助言いただきました。

本交流会は参加者数も多く、大変反響が大きかったため、今回当日のもようを記録として作成いたしました。このほど当連盟のホームページへ掲載（全 13 頁）いたしましたので、参照いただければと思います。

<交流会の流れ>

- 14:00 開会 丸山裕輔氏(全視連副専門委員長)
- 14:10 事例報告 1 山本 淳氏(岩手県)
- 14:20 事例報告 2 小柳真一氏(栃木県)
- 14:30 立見客員教授からの助言
- 15:00 意見交流（チャットによる質問も）
- 15:25 交流会のまとめ 丸山裕輔氏
- 15:30 閉会

<事前アンケート：取り上げてほしい話題>

- ・講師の高齢化、人材不足
- ・映写機の修理・メンテナンス
- ・16 ミリフィルムの保管方法
- ・オンライン講習会の可能性／講師 1 名で最大

受講者人数

- ・16 ミリ映写機の購入・借用の可否
- ・フィルム保存のための複製の可否・方法
- ・映写機を保存するか廃棄するかの判断基準
- ・講習会で在住在勤在学でない人への修了証？

視聴覚センター・ライブラリー担当者オンライン交流会
テーマ：16 ミリ映写機操作講習会の現状と今後の方向性
日時：2023 年 9 月 19 日（火）14 時から 15 時 30 分

進行：全国視聴覚教育連盟丸山副専門委員長（新潟県五泉市立愛宕小学校）
事例報告：全国視聴覚教育連盟山本専門委員（岩手県教育委員会事務局盛岡教育事務所）
事例報告：全国視聴覚教育連盟小柳専門委員（栃木県視聴覚教育連盟・栃木県総合教育センター）
助言者：群馬大学教職大学院客員教授

1) 開会
○進行：丸山副専門委員長
皆さんこんにちは。定刻になりましたので、これより視聴覚センター・ライブラリー担当者オンライン交流会を始めます。私は司会進行役を仰せつかりました。全国視聴覚教育連盟の副専門委員長、普段は新潟県の五泉市にありますが愛宕小学校に勤務しております。丸山裕輔と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それは、私からオンライン交流会の最初のお話をさせていただきます。今回の交流会はテーマとして、16 ミリ映写機操作講習会の現状と今後の方向性を設定いたしました。16 ミリ映写機操作講習会については、16 ミリ映写機そのもの、またはフィルムを取り巻くいろいろな課題がございまして、私も実は新潟県の視聴覚センターに勤めたことがあるのですが、その長所と、そして現在のちょっと困っているところも数多く出ている現状かと思えます。

今日は全国各地から大勢の皆様が平日の午後にもかかわらずご参加いただきありがとうございます。今日の交流会には助言者として群馬大学教授の立見康彦先生をお迎えすることができました。どうぞよろしくお願いいたします。立見先生につきましては、月刊誌の視聴覚教育の記事ですが、全視連の視聴覚教育時報の記事等がでておられまして、私も拝読していただいています。

立見先生は、毎年、16 ミリ映写機操作講習会の講師役、またはご講演者として、いろいろなところでご活躍されています。今日のテーマに本当にまききつぱりの助言者を迎えることができたというふうに全視連の事務局ともども喜んでおりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まずの流れなんですけれども、この後、全国各地のセンターで活躍されています。お二人の全国視聴覚教育連盟専門委員の方から事例報告をそれぞれ 10 分程度いただきたいと思います。お一人は山本委員さんです。もう一人が小柳委員さんです。それぞれの事例を報告いただきまして、私たち共に学んでいきたいと思っております。その事例報告 2 件が終わりましたら、その後立見先生から助言をいただきます。

このようにたくさんの参加者に今回お集まりいただいたということで、事務局の佐藤様を中心にご苦労をいただきまして、事前にすでに質問事項を立見先生にお伝えしてありますので、立見先生から助言をいただきたいと思っております。また現在このようにオンラインでやっている一つのメリットが、チャットも利用できるということです。もしこの会の途中でチャット等で質問等がありましたらチャットでお伝えいただけたらと思います。この会の中で、またご回答申し上げるような仕組みを事務局ともども考えておりますので、よろしくお願いいたします。それでは早速事例報告をいただきます。その中で自己紹介を入れていただきたいと思ひますし、本来ならば皆様方お一人お一人の自己紹介をいただきたいところなのですが、時間の関係で省かせていただきます。失礼をお詫言いたしたいと思います。それでは最初の事例報告を山本専門委員よりよろしくお願いいたします。

<http://www.zenshi.jp/>

▽eスクール ステップアップ・キャンプ 2023 新潟大会開催 (R6.1.27)

来る令和6年1月27日(土)、(一財)日本視聴覚教育協会、日本視聴覚教員連合会主催、文部科学省、新潟市教育委員会共催により、eスクール ステップアップ・キャンプ 2023 新潟大会を開催します。

期日：令和6年1月27日(土)

時間：10:00～16:45

会場：朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター4F：新潟市中央区万代島6-1)

テーマ：未来を楽しむICT活用～支える技術と授業改善～

本大会は、園田学園女子大学の堀田博史教授を指導講師に迎え、「未来を楽しむICT活用～支える技術と授業改善～」をテーマに、

有識者による講演やパネルディスカッション、学校現場での先進的な取り組みを紹介するデジタルポスターセッションを通して、これからの学校・学びについて考えます。

会場では、ICT 機器・教材メーカー等 15社の協力により、「教育 ICT 教材・機材体験展示会」を終日開催し、教育で活用できる最新の ICT 製品・サービスが紹介されます。

また、今回は、新潟市教育委員会協力のもと、子どもと保護者を対象にした「にいがた ICT 教育フェア」も同時開催します。VR、メタバースなど社会に革新をもたらす最新技術の学校教育での活用や、年少の子どもでも楽しく遊びながら学べるロボットプログラミングなどを実際に体験いただきます。

【申し込み】 <http://eschool.javea.or.jp/index.html>

文部科学省・新潟市教育委員会共催

第2次案内

eスクール ステップアップ・キャンプ 2023 新潟大会

未来を楽しむICT活用 ～支える技術と授業改善～

GIGAスクール構想により整備された1人1台端末活用は、NextGIGAと呼ばれる次のステージに移行していきます。
いま一度、子どもたちが日常的に端末を活用して学ぶ環境とはどのようなものか考え、効果的なICTの活用事例を通してGIGAスクール構想の実現による新たな教育の可能性を探るとともに、未来を切り拓く教育の先端を体験し、これからの学校・学びについて一緒に考えましょう。

指導講師
園田学園女子大学 教授 堀田 博史

2024年
期日 **1月27日(土)** 10:00～16:45
(9:30受付開始)

会場 **朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター4F**
(新潟市中央区万代島6番1号)
※同時開催：にいがたICT教育フェア

参加申込 <http://eschool.javea.or.jp/index.html>
申込受付中(当日受付可能) 参加費無料

主催 一般財団法人日本視聴覚教育協会 日本視聴覚教員連合会 共催 文部科学省 新潟市教育委員会
協賛 日本学校視聴覚教育連盟 全国放送教育研究会連盟 後援 国立教育政策研究所 全国連合小学校長会 全日本中学校長会
全国高等学校長会 全国特別支援学校長会 新潟県教育委員会 五都市教育委員会 阿賀町教育委員会 新潟市教育委員会
阿賀野市教育委員会 船中町教育委員会 聖籠町教育委員会 三条市教育委員会 五井市教育委員会 加茂市教育委員会 田上町教育委員会
糸井川町教育委員会 長岡市教育委員会 小千谷市教育委員会 見附市教育委員会 出雲町教育委員会

お問い合わせ先 一般財団法人日本視聴覚教育協会 TEL:03-3431-2186

にいがた ICT教育フェア

未来を楽しむICT体験
～親子で学び、創造しよう～

体験参加者に
参加賞を
プレゼント!

● お子様から大人まで楽しめるイベントです。
ぜひお問い合わせのうえ、ご参加ください!

参加
無料 事前申込み不要です

特別企画

《保護者・先生向け講演》10:20～10:50
子供たちの未来を考えて
～なぜGIGAスクール構想を進める必要があるのか～
園田学園女子大学 教授 堀田 博史
学校に1人1台端末が整備されて3年、学習の効率が上がった一方で、不適切サイトの閲覧や学力低下などの心配もあります。ChatGPTなどの生成系AIも身近になりつつある現在、子供たちの未来を考えて、どのような資質・能力を育成すればよいのか、本講演が一つのヒントになれば幸いです。
お子さんと一緒に話を聞くこともできます

2024年1月27日(土)
10:00～13:30

朱鷺メッセ
新潟コンベンションセンター
4F 国際会議室(マリンホール)
(新潟市中央区万代島6-1)

※小学生以下のお子様には保護者の同伴が必要です

主催 (一財)日本視聴覚教育協会、日本視聴覚教員連合会
共催 新潟市教育委員会

2023 年もまもなく終わります。今年の一般上映される映画の観客動員数がどうなっているのか気になるところですが、すでに発表されている 2022 年の観客動員数をコロナ禍の時期と比較してみましょう。

2019 年には、邦画と洋画を合わせて 1,278 本の映画が上映され、1 億 9,491 万人の入場者がありました。しかし、新型コロナウイルスが猛威を振るった 2020 年には映画が 1,017 本、入場者 1 億 613 万 7 千人と減り、2021 年には 959 本と映画の数は減ったものの、入場者は 1 億 1,481 万 8 千人と持ち直しました。

そして 2022 年は 1,143 本と増え、入場者も 1 億 5,200 万 5 千人と増えました。大ヒット作も多かったことも理由に上げられそうですが、多くの方がコロナ禍の中、映画館に行けなかったり、座席の間隔を取ってマスクをしながら映画を見たりという経験をされてきたと思いますが、やっと映画を普通に見られるようになってきたということが大きいのではないのでしょうか。

来月 1 月の末頃には、2023 年の上映本数や入場者が発表される予定ですので、さらに増えているのかどうか、結果を楽しみにしたいところです。

一時は、コロナ禍を機に映画館での鑑賞より動画配信サービスなど家庭での視聴にシフトするのではという見方も広がりました。実際に

月額定額サービスとも呼ばれるサブスクリプション形式のサービスは、音楽や映画などの様々なジャンルで利用できるようになり、その数も拡大し続けています。私が自宅で利用しているサブスクリプション形式のサービスは国内海外の作品 27 万本以上のラインナップがあり、世界各国のマイナーな作品も見ることができます。私が今年視聴した映画は 240 本以上になりますが、サブスクを利用して自宅で見るからこその本数でしょう。

しかし、自宅で気軽に映画を見るというのもいいのですが、やはり誰かと一緒に見て、見た後にその映画について語り合うということの良さも大切にしたいものです。また、劇場やホールで映画を見ることの魅力を子どもの頃から知るといふ働きかけも必要なのではないでしょうか。映画を見るというのは、楽しみだけではなく、人生の経験知や思考力を高めることができる力を持っていると思います。

16 ミリ映写機の供給が終わり、メンテナンスも難しいなど、視聴覚センター・ライブラリーの活動が困難な状況にはありますが、希望者に貸し出すという業務だけではなく、映画の魅力を子どもから大人まで幅広い年齢層に伝えていくという取り組みを是非考えていただければと願っているところです。(T. M)

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル

TEL : 03-3431-2186 / Fax : 03-3431-2192

H P : <http://www.zenshi.jp/>

Mail : info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

中学校道徳・人権啓発

障害のある人の気持ち 私たちの一歩

中学生たちに車いすに乗ってもらい、車いすでの生活にはどのような困難や危険があるのか体験します。また、パラスリートの方へのインタビューから、どんな助けが必要とされているのか、私たちに何ができるのか考えていきます。(約18分)



字幕・副音声版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

国際理解・国際貢献を考える ～台湾との絆～

東日本大震災での支援や、新型コロナウイルスへの対策など、日本と台湾は困った時に協力し合ってきました。このような日本と台湾の絆を関係者のインタビューを交えて紹介し、国際理解・国際貢献について考えていきます。(約14分)



字幕版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

小学校道徳・特別活動

ええことするのは、ええもんや!

主人公マナブの行動や心の葛藤を通して、何のために「ええこと」をするのか? ボランティアの本質について子供たちに考えるきっかけを与えるアニメーション作品です。(約14分)



原作「ええことするのは、ええもんや!」(えほんの杜刊)
作: ぐすのきしげのり 絵: 福田岩緒

字幕版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

道徳・平和教育

お父さんへの千羽鶴

ともえちゃんのお父さんは特攻隊員でした。千羽鶴に託された家族の祈りと、二度と帰れぬお父さんの想い。愛する家族と国を守るために亡くなったお父さんの姿から、平和の尊さ、家族の絆の大切さを子供たちに伝えます。(約14分)



原作 ときたひろし「お父さんへの千羽鶴」(展転社)

字幕版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

いじめ防止教材ドラマ

いじめ ～それぞれの想い それぞれの言い分～

この教材では、一見非があるように見えるいじめ被害者の事情、正義感がいじめに発展するまでに至った加害者の気持ち、板挟みになる傍観者の心理など、様々な立場にいる生徒を多角的に描くことで、相手の見えない事情を想像することの大切さを提起します。また「晒し」や「ステメいじめ」といった、現代特有のSNS上のいじめについても注意喚起をしています。(約23分)

令和5年度教育映像祭 優秀作品賞受賞

字幕版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)



お問い合わせ・チラシ請求は



TEL 03(3535)3631 FAX 03(3535)3632
<https://www.toei.co.jp/edu/>
←予告欄はこちら



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>